

❖団体名	(特活) ハビタット・フォー・ヒューマニティ・ジャパン
❖ASC2012実施日	2015年2月19日

❖セフルチェック結果

指針項目	項目数	実現している項目数	実現していない項目数
組織運営基準	15	14	1
事業実施基準	11	11	0
会計基準	11	11	0
情報公開基準	4	4	0
<b>合計</b>	<b>41</b>	<b>40</b>	<b>1</b>

❖アカウントビリティへの考え方

「アカウントビリティ」は単に「説明責任」と訳されることが多いですが、「アカウントブル（accountable）」であるためには、十分な説明を行えば責任を果たしたことになるのでしょうか。きちんと説明することはもちろん大切ですが、情報提供や広報を充実させることイコール「アカウントビリティ」向上というわけではないと考えています。

私たちは、本来の意味で「アカウントブル」であるために、ボランティアと共に役員やスタッフが規範に沿って道義的に行動するのみならず、組織の運営と活動を社会に対して可視化し、明らかにすることによって、支援者や協力者からの信頼を確固たるものとし、活動のインパクトを向上させるための取り組みを続けていきます。

❖アカウントビリティ向上の取り組み紹介

- 1) 団体ガバナンスの強化
- 2) 中期戦略計画に沿った団体運営

❖上記取り組みの実施状況

- 1) 団体ガバナンスの強化  
ASC2012を実施し、組織運営において改善すべき点を再確認しました。ガバナンス強化計画を策定し、他団体の事例等も参考にしながら、組織の運営態勢の整備、強化を引き続きすすめていきます。
- 2) 中期戦略計画に沿った団体運営  
2014年度に中期戦略計画を策定しました。2014年度第4四半期より、この計画に沿って団体の運営と事業の実施を行っています。計画策定にあたり、事業プロセスを文書化し、整理、改編したほか、計画の実施にあたり、業務プロセスの文書化もすすめています。